

校長室から

令和3年2月5日

長町中紹介 DVD 清々しい中学生の姿を

首都圏や大都市圏中心に発出された緊急事態宣言は、感染状況が落ち着いてきた栃木県を除き、3月7日まで延長されることが決定しました。宮城県ではここ数日、発表される感染者数が減少傾向にはあるようですが、まだまだ油断できない日々であり、県内の公立高等学校や中学校の部活動の対外試合等の自粛が求められている状況は変わっていません。まずは、3月初めの公立高等学校の入学試験が終了するまでは、この状態が続きそうです。

例年の2～3月は、各部活動で春季大会が開かれたり、公式戦が実施されたりと、6月の中総体に向けて活動が活発になってくる時期ですが、ほとんどが中止・延期となっています。本校に目を向けて見ると、部活動だけではなく、例年1月に実施していた小学校6年生の体験入学や部活動見学会を中止せざる得なくなりました。このような小中学校の交流は、あと数ヶ月で入学してくる児童たちにとっても貴重な機会であったと思われますし、迎える中学校としても同様でした。特に、生徒会執行部の生徒が企画・運営し、部活動の生徒達がPRできる活躍の場でもありました。

それでも今年度は、中学校紹介のDVDを制作・紹介できる機会が各小学校のご協力があって実現しました。すでに小学校でDVDが6年生の児童たちの目に触れて、少しでも笑顔になってくれていると嬉しいですね。私も見せていただきました。生徒会長のあいさつから始まり、学校生活の紹介、小学校との違い、生活のルール、特色ある行事、「ともに!チーム長町プロジェクト」、制服やジャージの紹介等、どれも工夫され、ナレーションもはきはきしていて、作成されたスライドもとても分かりやすいものでした。やはり、現代の若者達のプレゼンテーション力は素晴らしいです。そして各部の紹介。各部活動の様子と各部長さんのコメントが映し出されました。とても堂々としていて、若者らしく、清々しい感じがしました。小学生も満足してくれるのではないのでしょうか。私もDVDを鑑賞しながら、この事態が少しずつ収束に向かい、活動が再開できるようになってきたら、きっと、青、緑学年の先輩方が新しく入学してくる赤学年を見守り、寄り添い、そしてリーダーシップを発揮して、新しい学校創りをしてくれるのではないかと期待が高まります。

そして、3年生は、昨日、私立高等学校の一般入学試験が終了しました。1月の推薦入試に始まり、ここまで保護者の方々のご協力、そして3年生それぞれの体調管理も素晴らしく、コロナ感染は見られません。この感染症は、何度かの大きな波が年間を通してやってきています。そしてこの太白区内でも何度か感染が確認され、その都度、本校でも緊張を強いられました。今もその状況は変わっていません。それでも、すでに1月が終わり、立春が過ぎ、近年にない寒い冬を、そしてこの災禍を乗り越えようと皆が努力を重ねています。

私たちは、このような事態でありながらも、工夫をしながら生きていく術を、そして学校生活を送っていく術を少しずつ身に付けてきました。全体で集まることができない時は学年ごとに、何かが中止になってしまった場合は代替案を、健康状態が良くない場合は連絡や連携を密にすることを、助けられた事を知った時は、互いに感謝する気持ちを忘れない事を、そして人が集まれない場合は映像等で伝えることを……。そしてこのような日々だからこそ、自分のストレスを他者に向けたり、人を陥れたりするエネルギーに変えたりしてはいけません。コロナ禍は感染症の恐怖だけではなく、人間の負の面もあぶり出しました。しかし、3年生の女子の作文にこんな記述がありました。「**どれほどの人が支えて、支えられて乗り越えてきたのか、そんな温かいエピソード・・・**」が本校にも多くありました。災禍をみんなで乗り越えましょう。春はそこまでやってきています。